

小學新撰修身書

安原時太郎開
平井義直編纂

七

176
3
50

大日本教育會館		
一	一	一
冊	函	架
五	五	八
號	號	函

函一
架一
號

K110.1
181
7

小 新撰脩身書

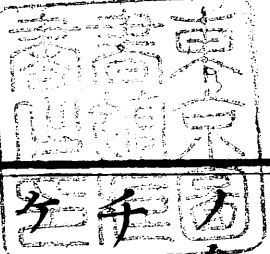
此卷ハ中等科第一年後期生徒ニ授ク
ル為ニシテ主トシテ徳ヲ進メ過ヲ規シ
老ヲ扶ケ賢ヲ崇ヒ後者ヲ愛スヘ
キ等ノ事ヲ教フ

新撰修身書卷七

安原時太郎閱
平井義直編纂

第一章

○龜山院天皇第二皇子曰ク。仁義ウチニア
ル人ハ能ク榮ヘ。利欲内ニアル者ハ。一旦榮
ユルトモ必ス亡ブベシ。是レ天ノ常ナリ。人



食ハ如シ。食ウチニアルモノハ活キ。食ウ
無モノハ死スルガ如シ。一時モ其徳カ
有ルベカラズ。知仁親王格言

小 新撰修身書 卷七 一 二 西 樓 叢 書

○己愚ナリト雖モ。慎ムモノハ必ず賢キ道ヲ得ル者ナリ。賢ニシテ色ガマ、ナルハ。天地ノ心ニ離レテ滅ブル者ナリ。藤原基經嘉言

○諸ノ罪咎ハ。改ルヨリ消工失又。諸ノ善ハ。修シヌルヨリ次第ニ増シテ。後ニハ國家ニ湍ツル者ナリ。和氣清麻呂嘉言

○凡ソ善人ハ人ノ志ヲ感ジ。善行ヲ聞キテハ親疏トナク受ケ悦ブ。惡人ハ人ノ貧ヲ見テハ悔リ。富貴ナルヲ見テハ羨ミ諂フ者ナリ。大江維時嘉言

○人第一ニ思慮スベキ事ハ。一步、一坐、一動皆失アラン事ヲ思ヒテ油斷スベカラス。是ノ如キ人ハ。必ず國家ノ柱ト成ルベシ。藤原忠良

○孝靈天皇敕ニ曰ク。夫レ人ト生レテ。邪ト正キト。逆シマト理リト。表ト裏ト。前ナルト後ナルト。始メナルト終リナルト。此十事ヲ能ク知ル者ハ。則今日ノ神ナリ。此十事ヲ辨ヘザレバ。神德ノ妙ヘナルモノヲ知ルコトナシ。

○五十狹芹彦命曰ク。外ヨリ来レルモノハ。寶ニハ非ズ。内ニナリ出ルヲ寶トス。外ニ作ル罪ハ消エヤスク。内ニ作レル罪ハ逃ルハ所ナシ。

○後鳥羽院天皇敕ニ曰ク。人ノ善悪ハ。言ト行ニ能ク顯レ知レルモノナリ。然ラハ何ゾ其心ニ隱サンヤ。故ニ達人ハ物ヲ隱スコトナシ。天ト心ヲ同フシテ違ハズ。小人ハ物ヲ隱シテ。天ト違ヒテ己ガ物トスル。鬼神手ヲ打チテ是ヲ笑フナリ。

○小兒ノ時ヨリ。心持ヤハラカ二人ヲメグミ。情アリテ人ヲ苦シメ侮ラズ。常ニ善ヲ好ミ。人ヲ愛シ仁ヲ行フヲ以テ志トスベシ。人ワガ心ニカナハザルトテ。顔セラハゲシクシ言バラ荒クシ。人ヲ怒リ詈ルベカラズ。童

子訓

○聖人ヨリ下ハ學問セザレバ。徳ヲ知り道ヲ行フコト能ハズ。人間ニ生レテ徳ヲ知り道ヲ行ハザレバ。人面獸心トテ形チハ人間ナレドモ。心ハ獸ト同ジコトニテ。至誠無息

ノ神理ヲ取失ヒ。世俗ノ諛ニ。人ノ皮ヲカブリタル犬トイヘル如ク。イト淺マシキ事ナレバ。學問ハ人間第一ノ急務ニシテナサデカナハ又事ナリ。翁問答

○人ノ善惡ハ多クハ習ヒ慣ル、ニヨレリ。善ニ習ヒ慣ルレバ善トナリ。惡ニ習ヒ慣レバ惡人トナル。然レバ幼キ時ヨリ習ヒ慣ルルコトヲ慎ムベシ。假ニモ惡キ友ニ交ハレバ習ヒテ惡キ方ニ早ク移リヤスシ。恐ルベシ。童子訓

○善ヲ好ミテ厭クコトナク。諫ヲ受テ能ク誠メバ。進ムコト無ラント欲スト雖モ得ンヤ。小人ハ是ニ反ス。亂ヲ致シテ人ノ己ヲ非トスルヲ惡ミ。不肖ヲ致シテ人ノ己ヲ賢トセンコトヲ欲シ。心虎狼ノ如ク。行ヒ禽獸ノ如クニシテ。又人ノ己ヲ賊トスルヲ怨ム。諂諛スル者ハ親ミ。諫諍スル者ハ疏ンス。修正ヲ笑ト為シ。至忠ヲ賊トス。滅亡スルコト無カラント欲スト雖モ得ンヤ。荀子修身篇

○小兒ノ時ハ。必惡キ癖。惡キ習ハセナト有

ルヲ。自ラ悪キ事ト知ラバ。改メテ行フベカラズ。又斯ル悪キ事ヲ。人ノ諫メニ遇ヒ戒メラレハ。悦ンデ早ク改メ。後年マテ長ク其事ヲ為スベカラズ。一タビ人ノ諫メタル事ハ。長ク心ニ留メテ忘ルベカラズ。人ノ諫メラ受ナガラ改メズ。ヤガテ忘ル、ハ守リナシトイフベシ。守リナキ人ハ。ヨキ人ト成リ難シ。童子訓

○宋ノ邵康節子孫ヲ戒メテ曰ク。上品ノ人ハ。教ヘズシテ善ナリ。中品ノ人ハ。教ヘテ後

善ナリ。下品ノ人ハ。教ヘテモ亦不善ナリ。教ヘズシテ善ナルハ。聖ニ非ズシテ何ゾ。教ヘテ後善ナルハ。賢ニ非ズシテ何ゾ。教ヘテモ亦不善ナルハ。愚ニ非ズシテ何ゾ。是ニテ善トハ。吉ヲ謂フナリ。不善トハ。凶ヲ謂フヲ知ル。小學

○幼キ時ヨリ。年老イテオトナシキ人。才學アル人。古今世變ヲシレル人ニ。馴レ近ツキ。其物語ヲ聞キ覺ヘ。物ニ書キ付オキテ。忘ルベカラズ。又疑ハシキ事ヲバ。知レル人ニ尋

子問フベシ。古キ事ヲ知レル老人ノ物語ヲ聞ク事ヲ好ミテ嫌フベカラズ。古キ事ヲ好ミ聞キテ嫌ハズ。物毎ニ志アル人ハ。後ニ必ズ人ニスグル、モノナリ。童子訓

○端慤順弟ナレバ。則善少者トイフベシ。加フルニ學ヲ好ミ遜敏ナレバ。則以テ君子者ト為スベシ。偷懦事ヲ憚リ。廉知無クシテ飲食ヲ嗜ムハ。則惡少者ト謂フベシ。加フルニ惕悍ニシテ不順。險賊ニシテ不弟ナレバ。不
少者ト謂フベシ。刑戮ニ陷イルト雖モ可也。

荀子修身篇

○多言尤事ヲ害シ徳ヲ敗ル。且快ニ乘シテ妄リニ人ヲ毀譽スベカラズ。人ヲ譽ムルコト實ニ過グルハ。固ニ不知トスベシ。況ンヤ人ヲ毀テ其實ニ中ラザル者ヲヤ。人ヲ毀ルコト中ルト雖モ。忠厚ノ道ニ非ス。且殃ヲ招クノ基トス。況ンヤ其實ニ中ラザルヲヤ。慎

思錄

○君子ハ善ニ遷ルコトヲ貴ブ。善ニ遷ルハ聖人ノ徒歟。百川ハ海ヲ學ビテ海ニ至ル。立

陵ハ山ヲ學ビテ山ニ至ラズ。是故ニ夫人畫
事ヲ惡ム。揚子法言

○君子心ヲ養フハ。誠ヨリ善ナルハナシ。唯
仁ヲ守ルコトヲ為シ。唯義ヲ行フコトヲ為ス。
誠心仁ヲ守レバ則外形ハル。形ハルレバ則
神。神ナレバ則能ク化ス。誠心義ヲ行ヘバ則
理。理ナレバ則能ク變ス。變化代興ス。之ヲ天
徳トイフ。荀子荀篇

○人ハ天地生育ノ徳ニ資テ生ル。是レ誠ニ
極リナキノ恩ナリ。徳ヲ報フ所以ヲ知ルコ

トヲ要スベシ。若シ之ヲ報ル所以ヲ知ラザ
レバ。此天地ノ不肖ノ子。頑愚ノ人ト謂フベ
シ。然ラバ仁ヲ以テ徳ニ報ヒン。曰ク仁心ヲ
存ス。是天地ノ徳ニ報ユル所以ナリ。仁心ヲ
存スル者ハ。即是レ人倫ヲ厚フシ。品物ヲ愛
スル所以ナリ。慎思錄

○宋邵康節子孫ヲ戒メテ曰ク。吉トハ目ニ
非禮ノ色ヲ觀ズ。耳ニ非禮ノ聲ヲ聽カズ。口
ニ非禮ノ言ヲ道ハズ。足ニ非禮ノ地ヲ踐マ
ズ。人ハ善ニ非ザレバ交ラズ。物ハ義ニ非ザ

レバ取ラズ。賢ニ親ムコト芝蘭ニ就クガ如ク。惡ヲ避クルコト蛇蝎ヲ畏ル、力如シ。是ヲ吉人ト謂フ。小學

○又曰ク。凶トハ語言詭譎。動止陰險。利ヲ好ミ。非ヲ飾リ。淫ヲ貪リ。禍ヲ樂ミ。良善ヲ惡ムコト。讎隙ノ如ク。刑憲ヲ犯スコト。飲食ノ如ク。小ハ則身ヲ隕シ。性ヲ滅シ。大ハ則宗ヲ覆シ。嗣ヲ絶ツ。是ヲ凶人ト謂フ。同上

○義ヲ先ニシテ利ヲ後ニスル者ハ榮ヘ。利ヲ先ニシテ義ヲ後ニスル者ハ辱メラル。榮

ユル者ハ常ニ通ジ。辱メラル、者ハ常ニ窮ス。通ズル者ハ常ニ人ヲ制シ。窮スル者ハ常ニ人ニ制セラレ。是レ榮辱ノ分ナリ。荀子不苟篇

○程頤曰ク。德善日ニ積メバ。則福祿日ニ臻ル。德祿ニ踰レバ。則盛ナリト雖モ。滿ルニ非ズ。隆盛未ダ道ヲ失ハズシテ。喪敗スル者ハアラズ。近思錄

○小人ハ詐リテ巧ミナリ。是ニ似テ非ナリ。故ニ人之ヲ悦ブモノ多シ。君子ハ誠ニシテ拙シ。迂ニ似テ直シ。故ニ人之ヲ知ル者寡シ。

第二章

○宋陳瓘曰ク。幼學ノ士。先ヅ人品ノ上下ヲ
分別センコトヲ要ス。何者カ是レ聖賢為ス
所ノ事。何者カ是レ下愚為ス所ノ事。善ニ向
ヒ惡ニ背キ。彼ヲ去リ此ヲ取ル。此レ幼學ノ
先ニヅベキ所ナリ。劉氏人譜

○顏子孟子ハ亞聖ナリ。之ヲ學ベバ至ラズ
ト雖モ亦賢人トスベシ。今學者若シ能ク此
ヲ知レバ。則顏孟ノ事我モ亦學ブベシ。言温

ニシテ氣和セバ。則顏子ノ遷サヅル漸ク學
ブベシ。過ツテ能ク悔ヒ。又改ルヲ憚ラザレバ。
則顏子ノ貳ビセザル漸ク學ブベシ。小學

○過ヲ知ルハ難キニ非ズ。過ヲ改ムルヲ難
シトス。人過チ有リテ自ラ知ラザル者ナシ。
抑何ゾ過ヲ改ムルコトノ寥々タルヤ。劉氏
人譜

○小人閒居シテ不善ヲ為スコト至ラザル
所ナシ。君子ヲ見テ而シテ後。厭然トシテ其
不善ヲ拵フテ。其善ヲ著ハス。人ノ己ヲ視ル

コト其肺肝ヲ見ルカ如ク然リ。則何ノ益アラシ。此ヲ中ニ誠アレバ外ニ形ルト謂フ。故ニ君子ハ必ス其獨ヲ慎ム。大學

○程子曰ク。仲由過ヲ聞クラ喜ビテ。令名窮リナシ。今人過チ有レバ人ノ規スルヲ喜ハス。疾ヲ護リテ醫ヲ忌ムガ如シ。寧口其身ヲ滅セドモ悟ルコトナシ噫。小學

○昔子路過アレバ七日食ハズ。孔子之ヲ聞キテ曰ク。由過チラ改ムルヲ知レリト。子路ガ如キハカ行ト謂ベシ。請取シテ以テ吾黨

ノ勸ト為ス。劉氏人譜

○人ノ身ノワザハ。言行ノニツニアリ。是ヲ慎ミテ過チラ少ナクスルハ。身ヲ修ムル道ナリ。凡ソ人ハ言ハ常ニ餘リアリテ。行ハ常ニ足ラズ。言ヲ誠ニシ。行ヲ篤ク慎ムベシ。言ハ過リ易シ。慎ンテ妄リニイフベカラス。行ハ常ニ怠リ易ク不足多シ。怠リナク敏ニ務メ。餘リ有ル程篤ク行フベシ。初學訓

○宋邵康節曰ク。人ノ善惡ハ言ニ形ハレ。行ニ發ス。人始メ得テ之ヲ知ル。但心ニ萌シ慮

二發ス。鬼神已ニ得テ之ヲ知ル。此君子獨ラ
慎ム所以ナリ。劉氏人譜

○明薛文清曰ク。予毎夜寢ニ就キ。必ズ一日
行フ所ノ事ヲ思フ。行フ所理ニ合ヘバ。則恬
然安ジ寢ス。若合ザルコトアレバ。則輾轉寢
スルコト能ハズ。必ズ其失ヲ更ム所以ヲ思フ。
又始メ勤メテ後怠ルコトヲ慮ル。同上

○楊慈湖曰ク。吾少キ時。初メ過アルヲ知ラ
ズ。但他人ノ過アルヲ見テ。一日自ラ念フテ
曰ク。豈ニ他人俱ニ過アリ。而シテ我獨リ無

カラシヤ乃反觀内索シ。久シテ其一ヲ得タリ。
既ニシテ又索ム。然シテ後過其多キニ堪ヘ
ザルヲ見テ。乃大ニ懼レカメテ改ム。劉氏人譜

○常ニ人ノ非ノミ數ヘ云フ者ハ。必ズ其身
ニ過多ク不義アル者ナリ。己ガ心ニ過アル
ニヨリ。他人ノ非ヲ求メテ友トス。身ニ過ナ
キ人ハ。内ニ惡ノ友ナキ故ニ。他人ノ非ヲ語
ラズ。源為義猶子秀義嘉言

○人ノヨカラヌウシロ言ヲイフ者ハ。必ズ
大臆病者ノワザナリ。譬ヘバ武士ノ外タル

モノモ。斯ノ如キ者ハ。出家ハ不學破戒ノ者。
商人ハ末ノ無キモノナリ。源為朝嘉言
○人ヲタノミテ身ヲタテムト思ヘルハ。婦
女ノコヽロザス所ニシテ。男兒ノ恥トスル
所ナリ。タゞシ情ヲ直ニシテ。タゞチニ行ハ
ントハスベカラズ。時勢ニシタガヒ。事物ニ
ヨリ。身ヲ忠義ニユダネ。心ヲ盛衰ニ動カサ
ズ。天命ニマカセテ人謀ヲタノムベカラズ。
タゞニ實地ヲフムコトヲ志シテ。空裏ニ走
ルノ思ヒナカルベシ。是レ官ニツカフルモ

ノ、節操ナリ。何ゾヒキタツルノ人ヲタノ
マンヤ。井澤長秀嘉言

○尊キヨリ賤キニ至ル迄。一ノ鏡ヲ求メテ
常ニ見ルベシ。大臣ヨリ下ツカタハ道ノ賢
キ友ヲ求メテ。常ニ此鏡ニ向ヒ。己ガ不正ノ
姿ヲ見ルベシ。此頃ノ人ハ我心ノ合フト違
フトニテ。人ヲ測ルユエニ。我が善惡ノ鏡ナ
ク。天地ニサカヒ。人ノ心ニ叶ハズ。藤原冬嗣嘉言

第三章

○老成ノ人ノ言。迂闊ナルコト有レドモ。事

ヲ更ルコト多シ。後生天資聰明ト雖モ見識終ニ及バザルコトアリ。後生例シテ老成ヲ以テ迂闊ナリトシ。以テ訓ヘント欲スレバ。後生聽クヲ厭フテ。毀訾スル者多シ。後生年齒漸ク長ジ事ヲ歷ルコト漸ク多キニ及ンテ。方ニ老成ノ言佩服スヘキヲ悟ル然_正已ニ險阻艱難備サニ嘗ルノ後ニアリ。袁氏世範

○人ノ心ハ能ク移ル者ナリ。然ルニ賢ニハ移リガタク。惡ニハ移リヤスシ。惡人ト雖モ

賢ナル事ハ好ミテ。惡ナル事ハ嫌ヘリ。ヨキ事ヲヨシト。碇ト人知ラヌ故ナリ。藤原圓子嘉言

○源小法師九十一歳ノ時曰ク。善ヲ善ト言ヒ。惡ヲ惡ト謂フ者ハ。大方善人ナルベシ。今ノ世能者ト謂フハ。言バラ飾リ。物ゴト靜ニ善惡ヲイハス。人ニ媚ビ諂フモノヲ大キニ能者ナリトテ。何方ニモ抱ヘテ賞翫ス。我ハ是等ノ者ヲ大ナル佞人ト思フ故。扶持セジト思フナリ。物ゴト正シク。善惡ヲ能ク分クルヲヨシト思フナリト言ヒシトナリ。和論語

新編... 卷之七

○人ノヨカラ又曲者アリテ。大惡人トハ知レドモ。己レニヨキラバ遠ザケ侍ルコトナシ。是レ併シチガラ。深ク惡人ナルコトヲ知ラザル所ナリ。人毎ニ善人ナリト雖モ。己レガ心ニ叶ハヌヲバ善人トハイハズ。コヽニ知リ又己レガ正シカラヌコトヲ。己レヲ捨テ、知ル所アルベシ。菅原是善嘉言

○己レガ心ヲモテ。人ノ智ヲ測リ見ルコト。常ノ人ノ能クアル事ナリ。己レヲ用キテ他ニ及ブコト誠ニ拙シ。唯聖智ヲ求メテ。人ノ

善惡ヲ見ルトキハ。明鏡ニ萬物ノウツルカ如シ。人能ク此寶鏡ヲ求ルコトヲ。能ク知り顔ニシテ曾テ知ラス。藤原冬光嘉言

○聖賢ノ言ヲ以テ必ず信ズベシト為シ。古人ノ事ヲ以テ必ず行フベシト為セバ。則世俗小々ノ利害。吾ガ累ヒヲ為スコト能ハス。

朱子格言

○君子ハ必ず交遊ヲ慎ム。孔子曰ク。己レニ如カザル者ヲ友トスル勿レ。顔閔ノ徒何ゾ世ニ得ベキ。但我ニ優レハ便之ヲ貴ブニ足

レリ。世人多ク耳ヲ貴ビ目ヲ賤ミ。遙ナルヲ
重ンジ。近キヲ輕ンズルニ蔽ハル。少シク長
ジテ周旋スレバ。若シ賢哲有ルトモ。毎ニ相
狎侮シテ禮敬ヲ加ヘズ。顏氏家訓

○中庸ニ。義者宜也。賢ヲ尊ブヲ大ナリト為
ストハ。愛スベキ人ヲ各其品ニ隨ヒテ愛シ。
又敬フベキ人ヲ敬フ理也。其中ニ付テ賢人
ヲ尊ブハ尤義ノ大ナルナリ。イカントナレ
バ多クノ人ノ内ニテ。人ヲ擇ビ辨ヘテ賢人
ヲ尊ブハ。其人ニ相應シタルコトナリ。是レ

宜也。賢ヲ尊ビテ大賢ハ師トシ。小賢ハ友ト
スレバ。其教ヘ諫メヲ受ケ。吾ガ智開ケ。萬ノ
道理明カニナリ。吾ガ身ノワザ道理ニ叶フ。
故ニ賢ヲ尊ブ程。大ニ宜キコトハナキ者ナ
リ。五常記

○國語ニ。公父文伯ノ母。季康子ニ告ゲテ曰
ク。君子ハ能ク勞ス。後世繼グコトアリ。又其
子ニ謂フ。聖王ノ民ニ處スルヤ。瘠土ヲ擇ン
テ之ニ處ク。其民ヲ勞シテ之ヲ用ウ。故ニ長
ク天下ニ王タリ。又曰ク。民勞スレバ則思フ。

思へバ則善心生ズ。逸スレバ則淫ス。淫スレバ則善ヲ忘ル。善ヲ忘ルレバ則惡心生ズ。沃土ノ民ハオアラズ。淫ナレバナリ。瘠土ノ民ハ義ニ嚮ハザルハナシ。勞スレバナリ。呂子童蒙訓

○左傳ニ亦言フ。民生勤ニ在リ。勤ムレバ則置シカラズ。此ヲ以テ知ル。勤勞ハ身ヲ立テ善ヲ為スノ本。勤メズ勞セズバ萬事舉ラズ。今夫レ民能ク勤勞スレバ凍餒ノ患ナシ。人ニ親マスト雖モ。人亦之ニ任ズ。常ニ嬾惰ニシテ自ラ其身ヲ弃ツ可ケンヤ。同上

○年老イタル人ニ遇フトキハ禮ヲ盡スベシ。今時ノ人ハ己ガ富貴權勢ヲ恃ミテ。年老イタル人ヲ欺ク者多シ。是レ大ニ不可ナリ。

願體集

○人ノ賢不肖ヲ論ズルニ。必ズシモ細行ヲ問ハズ。必ズ倫理大節ノ上ニ就キテ。其得失如何ヲ觀ルベシ。然ラザレバ則世ニ全キ人ナシ。言志錄

○宗陳瑩中曰ク。學者特ニ誦數ニ習ヒ。文章ニ發スル而已ニ非ズ。將ニ以テ古人ノ為ス

所ヲ學ビントスルナリ。呂氏童蒙訓

○年老イタル人ト同坐スルトキハ再三譲リテ。老イタル人ヲ上坐ニ坐セシムベシ。勞アルトキハ其勞ニ代ルハ古ノ人ノ老ヲ敬フ道理ニシテ。君子ノ行フ所ナリ。願體集

○孟子先務ヲ急ニシ。親賢ヲ急ニスルヲ以テ堯舜ノ仁智ト為ス。試ニ二典ヲ檢スルニ竝ニ皆前ノ半截ハ是先務ヲ急ニシ。後ノ半截ハ是親賢ヲ急ニス。言志錄

第四章

○孔子曰ク。唯タ女子ト小人ト。養ヒ難シト為ス。之ヲ近ヅクレバ。則不孫ナリ。之ヲ遠ザクレバ。則怨ム。論語

○奴僕ヲ使フ人。慈愛ナカルベカラズ。奴僕若シ病アレバ。藥ヲ與ヘテ養生ヲ加ヘシムベシ。然ラザレバ陰徳ヲ壞フノミナラズ。彼主人ハ甚ダ不仁ナリト。諸人ノ口ニカ、ルベシ。願體集

○家ヲ治ムルニ。奴婢尤治メ難シ。是ヲ使フニ道アルベシ。遠ザケテ嚴シケレバ。恨ミ背

ク。近ヅケテ忽カセナレバ。驕リ怠ル。思愛ヲ以テナツケ。禮法ヲ以テ正スベシ。如此スレバ恨ミナク驕ナシ。仁愛ト禮法ト。ニツノ者竝ビ行フベシ。家道訓

○古ノ諺ニ曰ク。痴ナラズ聾ナラザレバ。家翁トナラズト云フ意ハ。家ノ主トナル者ハ。家人ノ過アルヲ堪忍シテ。愚ナルヤウニアルベシ。賢コダテシテ明察ニ過レバ。家人苦シテ家治ラズ。又家人ノ悪ヲ人ヨリ告ル事ヲ取り上ケテ聞キ用ウベカラズ。耳聞カザル

如クナルベシ。此ノ如クナラザレバ。家ノ主人ト成リカタシ。此諺能ク心得ベシ。同上
○凡ソ禍ハ下ヨリ起ル。主人タル者。奴僕等ノ愚ナルコトヲ察シテ。一片ノ慈愛ヲ垂レ。少キ者ハ其智ノ短ナルヲ憐ミ。老イタル者ハ其カノ衰ヘンコトヲ憐ミ。時々教訓ヲ加ヘテ使フトキハ。其心悦ンテ主人ノ命ヲ守リ。更ニ怨ミヲ生ズルコトナシ。願體集

新撰脩身書卷之七畢

明治十五年五月九日出板版權御願
同 年五月卅日版權免許
同 年十月 刻成發兌

定價金七錢

京都府平民

編輯者 平井義直

上京區第廿組靖菜町土番戶

京都府平民

出版人 杉本甚介

下京區第五組辨慶石町六番戶

176
2
50

大日本教育會書館		
一册	一四五號	一八函

東
分
十

一
五
一
冊

小學
新撰修身書

安原時太郎閱
平井義直編纂

八

K110.1
181
8